

だいこん品種「涼太」

だいこん品種「耐病総太り」は品質の良さから、長年、夏まきだいこんとして選択されてきたが、空洞症が発生しやすいことなどから、最近ではあまり導入されなくなっている。

「涼太」は「耐病総太り」より空洞症の発生が少なく、肉質も良好な品種である。

表1 収穫時の生育及び品質

は種期	品種名	根重 (g)	根長 (cm)	青首部の 着色程度	収穫物の 硬さ(lb)	発生株率(%)					
						す	黒	空	裂	岐	曲
8.9	涼太	885	35.1	3.1	16.1	0	0	5	0	0	10
	耐病総太り	855	36.7	2.2	17.7	0	0	25	0	0	20

「涼太」は、「耐病総太り」に比較して青首部の着色は濃く、収穫物の硬さ(肉質)は軟らかく、空洞症や曲根の発生割合も少ない。

表2 萎黄病発生圃場における萎黄病抵抗性

品種名	根部の先端部	
	発生株率(%)	発病度
涼太	14.7	10.6
宮小町	0	0
耐病総太り	20.5	17.4

「涼太」の萎黄病抵抗性は、「耐病総太り」並みに弱いので、萎黄病発生圃場では作付けしない。

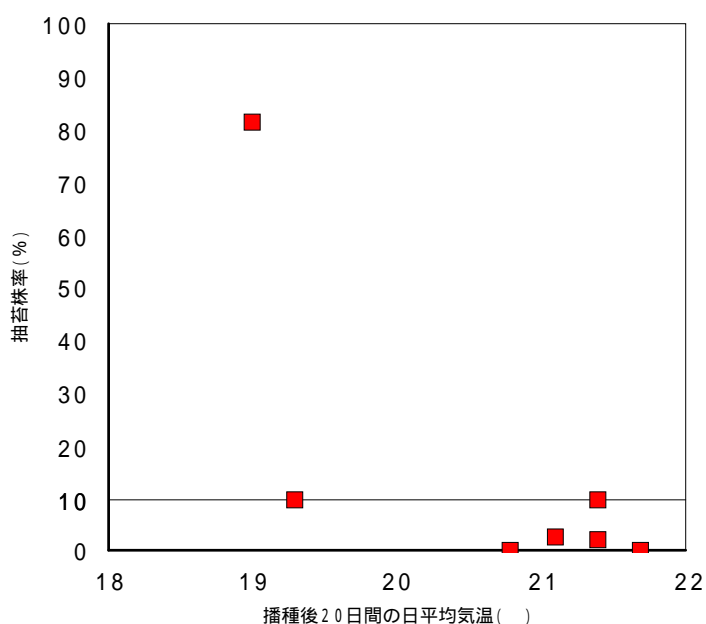


図1 温度条件と抽苔株率(無マルチ無被覆)

「涼太」の抽苔株率が概ね10%以下となる播種後20日間の日平均気温(抽苔回避温度)は、19~20前後と推定される。

「耐病総太り」の抽苔回避温度が19と推定されることから「涼太」の抽苔性はほぼ「耐病総太り」並みと考えられる。